

# 日本海の護りの要所・舞鶴湾に浮かぶ無人島「蛇島」を核としたレガシー形成構想

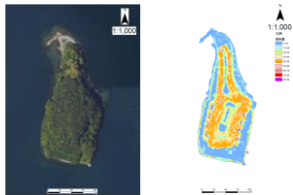
## 事業概要

- 中世から近現代、水軍から海軍に至るまで、日本海の護りの要所であったという歴史をもつ唯一の島「蛇島」において、蛇島城の復元整備および日本近代化の躍動を体感できる象徴的な島を活用した市内観光資源周遊の仕組みを構築するための実現可能性を調査する

## 蛇島城の復元整備及び蛇島の観光活用に向けた調査

蛇島城の復元整備及び蛇島の観光活用に向けて安全性確保のため、島内全体の詳細把握を進める

蛇島全体の地形を立体的に把握するための手段として、現地調査を行い「CS立体図」「陰影段彩図」を作成。安全に支障をきたすような地形について分析の上報告を実施した



地図イメージ

### ■ 調査結果サマリ

島内は全体的に木が生い茂り、活用にあたっては**草刈り・歩道の整備等が必要**であること、**棧橋についても現状のまま使用することは難しいこと**が分かった  
また、**島内は中央に向かうほど傾斜がかかっており**、整備のない現状では道慣れしていない人には登るのが厳しい状況であることが分かった

## 棧橋の活用調査

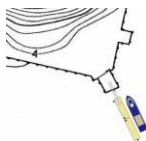
観光客の安全性確保に向け優先事項となる棧橋の整備において、設置要件を整理し具体的な構造・設置場所等の検討を行う

棧橋には固定棧橋や浮棧橋など複数の構造があるため、現地・事例調査を通して、安全性、メンテナンスの容易性、整備及び維持管理コストなどを比較し、適した棧橋案を検討した



### ■ 調査結果サマリ

今回は費用や維持管理の観点から**浮棧橋での整備を前提とした**また、蛇島周辺の自然条件・法規制を整理し、自然や歴史への配慮、利用者の安全や維持管理の容易さを考慮した結果、蛇島では**杭式のFRP浮棧橋を使用、突堤型岸壁接続方式での配置が適している**ことが分かった



FRP浮棧橋・配置図

参考イメージ

画像出典：ヤマハ発動機株式会社PR

### 浮棧橋設置推定金額（工事費別途）

棧橋本体：約1,500万円×2函＝約3,000万円  
連絡橋：約500万円  
杭：標準約150万円×4本＝約600万円  
**合計 浮棧橋本体 約4100万＋工事費 約数千**

## 地域住民への機運醸成及び関係機関に対する影響調査

蛇島活用に向け、地域住民への機運醸成や、漁業への影響を調査する。また、関係機関との間で今後の必要な対策について協議を行う

地域住民や観光事業者向けに2種のワークショップを実施することによって、機運醸成及び期待・不安の声を収集する。また、近畿財務局をはじめとした関係者間で検討会を実施し今後について意見交換を行った

### 市民向けWS

- 舞鶴市の観光や蛇島の現状を知る機会の創出
- 市民の観光に対する懸念や期待を収集する

参加者：舞鶴市民10名

### 関係者向けWS

- 観光に対する当事者意識を持つきっかけ作り
- 観光活用について事業者目線での意見収集

参加者：事業者等9名

### 関係者検討会

- 蛇島譲渡に向けた活用方針や課題・スケジュール感等を共有
- 関係者間で協議の上共通理解を深める

参加者：財務局等16名



WS、検討会 当日の様子

## 整備手法の検討

旧軍港市転換法の適用による国有財産譲渡後の舞鶴市における蛇島整備手法の検討を行う

公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うPPPを視野に入れ、民間事業者へのヒアリング結果も踏まえ有効な維持管理手法を検討した

### ■ 検討結果サマリ

設計・施工・維持管理・運営は一体発注ではなく、**維持管理・運営だけを切り出し、徐々に業務範囲を広げていくことを前提にした発注が望ましい**。また、整備を段階的に実施する場合には、**設計・施工も一括ではなく個別に発注が適していると考えられる**